

課題番号：8

課題名		廃炉プロセス「燃料デブリ取り出し」 検討対象「作業性」 課題「 建屋内エリアの作業員被ばく管理 」	
具体的ニーズ		望ましい状態とその理由	（参考）関連する研究課題
1	作業エリアの汚染状況を把握したい。	●放射線防護を適切に実施するために、建屋内の作業員が立ち入るエリアの作業環境（対象核種、線量当量率、空気濃度、表面密度）を把握することが望まれる。	—
2	作業エリアの線量を管理・モニタリングしたい。	●外部被ばく・内部被ばくの管理基準（線量当量率の管理や防護装備等の基準）を確立するために、作業環境における核種情報に基づき外部被ばく・内部被ばくそれぞれにおける管理上の着目核種を選定することが望まれる。 ●放射線防護を適切に実施するために、建屋内の作業員が立ち入るエリアの線量モニタリング方法の確立が望まれる。	—
3	安全かつ効率的な作業計画をたてたい。	●法令で定められた被ばく線量限度（50mSv/年及び100mSv/5年）を下回るように、作業工法・作業時間・作業員の人数を検討・設定することが望まれる。 ●効率的な作業を実施するために、建屋内での作業装備（全面マスク、タイベック、アノラック）の簡素化を図ることによる作業員負担の軽減が望まれる。 ●安全な作業を実施するために、建屋内における作業員の位置情報をタイムリーに把握することが望まれる。	課題リスト5/12「放射線量可視化による被ばく低減評価技術の開発」
関連する課題		○「基礎・基盤研究の全体マップ（詳細版）」にて、本課題と矢印で結ばれた課題は関連する課題です。ご参照ください。 ○また、「燃料デブリ取り出し」と「処理・処分・環境回復（燃料デブリに由来する α 核種が含まれる廃棄物含む）」、「輸送・保管・貯蔵（燃料デブリに由来する α 核種が含まれる廃棄物含む）」を結ぶ「キャラクターゼーション（廃棄物管理のための）」も、本課題と関連する課題です。ご参照ください。	